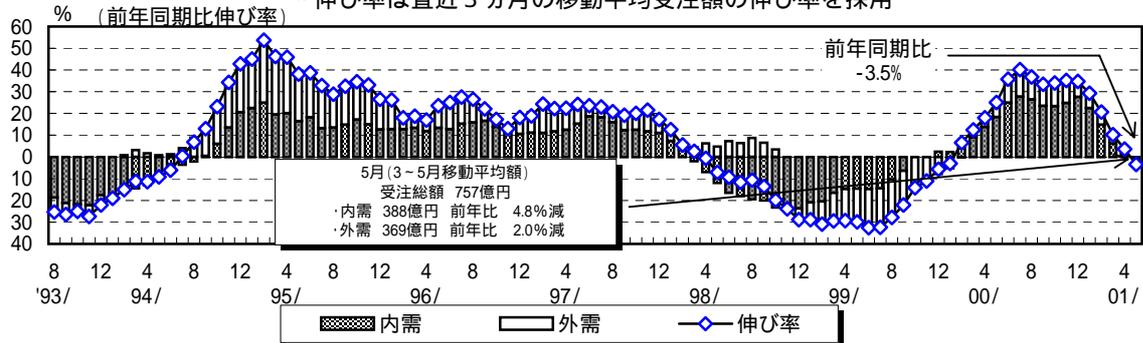


工作機械業界の動向

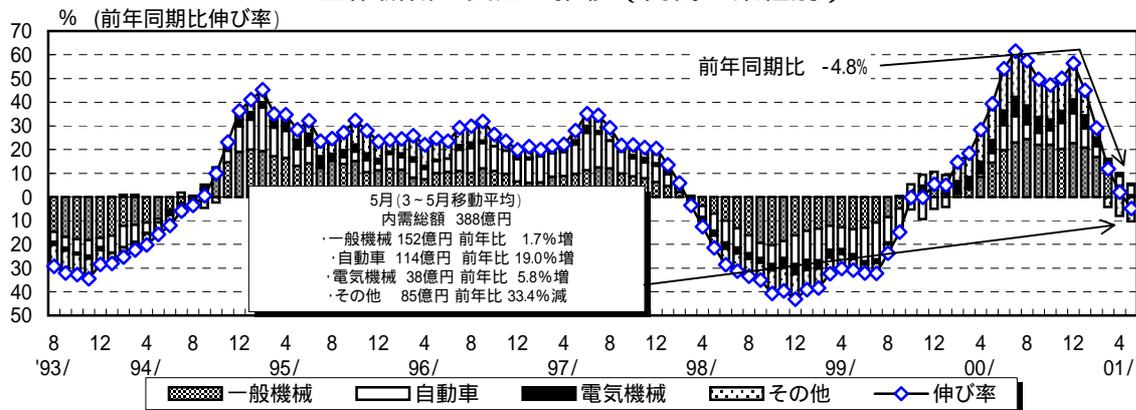
- ・ 5月の受注は、内外需共に減少し2ヵ月連続の減少となった（前年比11.7%減）。金額でも、696億円と2000年1月以来16ヵ月ぶりに700億円台を割り込んだ。
- ・ 内需は、精密機械向けが減少幅を更に拡大（同44.3%減）しているうえ、主力部門でも一般機械（同10.4%減）が16ヵ月ぶりの減少に転じたことから、前月に続き減少となり、減少幅も拡大している。
- ・ 外需は、一部企業で大型の受注があった前月の特殊要因が剥落したことで、減速傾向が鮮明となり16ヵ月ぶりの減少（同12.3%減）。欧州は増加したものの、主力の北米と、アジア向けが不振（米国5月受注額、同14.5%減）。
- ・ 受注残は、14ヵ月連続で増加も、伸び率は更に低下（同3.7%増、3,563億円）。

工作機械受注の推移（内外需別）

* 伸び率は直近3ヵ月の移動平均受注額の伸び率を採用

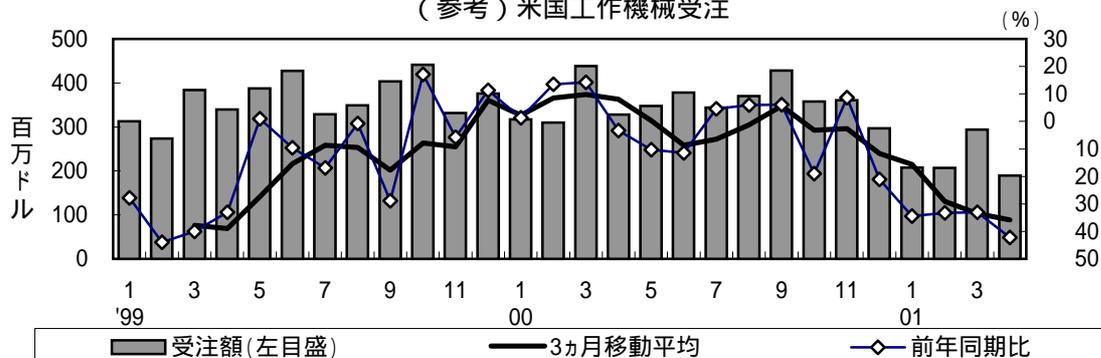


工作機械の受注の推移（内需・業種別）



(備考) 日本工作機械工業会資料より作成

(参考) 米国工作機械受注



(備考) AMT資料により作成

[調査部(産業調査担当) 竹ヶ原 啓介]